

# 磯路地域活動協議会通信 157号

<https://isoji.info/>

2026年3月

トークフォークダンス 大人としゃべり場 2月20日(金) 磯路小学校講堂

まもなく卒業を迎える6年生と地域の大人たちによる、「トークフォークダンス」が行われました。校長先生が他校で行われていた取り組みに着目し、「ぜひ本校でも」と企画立案、NPO法人FAIRROAD(フェアロード)の後押しもあり、実現しました。

「トークフォークダンス」とは、二重の輪を作り、フォークダンスのように相手を替えながら、進行役から出されるお題について、1対1で1分間ずつ「話す」「聞く」を繰り返すものです。

大人たちは内側の輪、子どもたちは外側の輪に座ります。参加者の大半は当日が初対面。「初めまして、〇〇と言います」と挨拶を交わすところからスタート。「好きな給食は?」「一週間休めるとしたら何をしたい?」「タイムマシンがあれば…?」など、子どもたちが話しやすいお題を校長先生が用意してくださいました。答えに詰まって照れ笑いを浮かべたり、好きなメニューを熱く語ったり、大人の意外な一面に驚いたり。短い時間ながらも、心が通う瞬間がいくつも生まれていました。普段はおとなしい子が自分の言葉でしっかり説明する姿や、人見知りで「会話が成り立つだろうか」と心配していた児童が、楽しそうに会話を広げる様子に先生方も感心しきりだったようです。大人側にとっても、子どもたちと一対一で向き合う機会は貴重なもの。「批判しない」「指導しない」など、いくつかのルールのもと、安心できる場づくりを大切にしました。ここでの経験が新しい環境へ踏み出す6年生の力になることを願っています。業務時間を割いてご協力いただいた港区役所、港区社会福祉協議会、大阪市交通局の皆様も本当にありがとうございました。

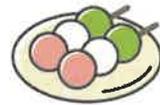


## 緊急搬送時(災害時避難方法)情報提供シートの書き方講座

1月28日(水) 磯路会館 老人憩の家

保健福祉センター・在宅医療・介護連携室・地域包括支援センターの職員を講師にお迎えし、「緊急搬送時(災害時避難方法)情報提供シート」の書き方講座を開催しました。シート作成の背景や、救急隊が必要とする情報を分かりやすく記入するポイントを教えていただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。完成したシートは封筒に入れて冷蔵庫に貼っておくことで、救急搬送時や災害時に迅速な対応につながるとのこと。いざという時に自分やご家族を守る大切な備えとして、多くの方に活用していただきたい内容となりました。





## 第28回 春いちばん ふれあいフェステバル

2月22日(日)港区民センター

港区内11校で取り組む“生涯学習ルーム”の1年間の成果発表が行われ、磯路地域からも多彩な学びが披露されました。舞台発表では、民謡「わかば会」の息の合った踊りとフラダンス「カサブランカ」の華やかで優雅なステージが観客を魅了し、日頃の練習の積み重ねが感じられる発表となりました。展示コーナーには、丁寧に仕上げられたパッチワーク、季節感あふれるフラワーアレンジメント、美しい筆致のペン習字が並び、どれも力作ぞろい。地域の皆さんの学びへの意欲と創造力が輝く、温かい発表の場となりました。



どなたでもご参加いただけます。受講希望の方は、直接磯路小学校へお越しください。



### 春の全国交通安全運動

### 運転講習会のご案内

### 3月23日(月)18時~19時

### 磯路小学校多目的室



### ふれあい喫茶

### 3月21日(土)

### 10時~13時

MENU

コーヒー(HOT)・紅茶(HOT)・オレンジジュース  
トーストまたはお菓子付き

費用 150円

場所 磯路会館 老人憩の家



### 編集後記

「トークフォークダンス」。果たして50人以上の大人たちを集められるのかと心配していましたが、無事に開催することができました。そこには、子どもたちがこれまで自発的に行ってきた募金活動や、登下校時の見守り、ふれあい清掃などを通じてはぐくまれてきた、様々な地域に関わる大人たちと児童とのご縁があってのことだと思えます。なかでも、区社会福祉協議会のみなさんは、部署ごとの会議時間を調整してまで参加枠を埋めてくださいました。こうした、地域にある温かいつながりの中で、子どもたちは多くの大人に見守られながら成長しているのだと、改めて感じた一日でした。

卒業を迎える季節。子どもたちが素敵に成長していく一方で、私たちは決算書を抱えて頭の痛い日々が始まり、「懲りないなあ」と苦笑いしながら年度末を迎えています(笑)。